

真喜良小学校では **午前5時間制** を導入しています！

文部科学省・沖縄県教育委員会・石垣市教育委員会では、各学校の創意あふれる魅力ある学校づくりを推進しております。その取り組み1つとして「午前5時間制」があります。これは2002年に東京都目黒区立の小学校から始まり、現在では全国の小・中学校で実施する学校が増えております。

「午前5時間制」は、一単位時間を40分間とし、午前中に集中して学習することを通して学力の定着を図り、午後にゆとりの時間を生み出し、各学校の実態に合わせて活用することを特徴としています。

また、教職員の「働き方改革」にもつながる取り組みの1つでもあります。そこで、令和6年度より本校においても創意ある取り組みの1つとして「午前5時間制」を導入します。

つきましては、児童・保護者の皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

校長 磯部大輔

午前5時間制の魅力ある学校づくり

幸動 自分とみんなの幸せのために行動する子

学びの午前	登校・委員会活動 ボランティア活動	08:00~08:15	
	出席確認・朝の会 健康観察	08:15~08:25	
	1校時(月~金)	08:25~09:05	
	2校時(月~金)	09:15~09:55	
	3校時(月~金)	10:05~10:45	
自律の午後	4校時(月~金)	11:00~11:40	
	5校時(月~金)	11:50~12:30	
	給食準備・給食 片付け・歯磨き	12:30~13:15	
	清掃(月火木金) 集会(水曜日)	13:15~13:35 13:35~13:50	
	昼休み・休憩時間	13:35~14:05	
	6校時(月火木金) クラブ委員会(水)	14:05~14:45 14:05~14:45	
	学びのふり返り	14:50~15:20	
	帰りの会	15:20~15:30	
	授業改善の放課後	下校時刻(月火木金15:30) クラブ・委員会のある日(水14:50) 放課後キラリン学習会(月火木金)	
		月曜：授業準備・教材研究 火曜：授業準備・教材研究 水曜：クラブ・委員会・校内研・学推部各部会・ ICT研・環境美化 木曜：学年会・週案作成・教材研究 金曜：授業準備・教材研究	
電話対応時刻		07:45~17:30	

○生活習慣の確立
「午前5校時制」は、早寝・早起き・朝ごはんの習慣化の向上が確認されています。
給食の時間が少し遅くなることを考慮し、児童には朝ごはんをしっかり食べるように助言します。

○授業時数と授業コマ数の確保
午前中に5単位時間の授業を行うため授業時数の確保につながります。
週時程を変更することなく、授業時数増の学習指導要領に対応できます。

集中力の高い午前に5時間授業

○学習の質を高める「教科横断的」な時間が可能
6校時の時間と学びのふり返りの時間を続けた「教科横断的」「発展的な学習」「体験的な活動の時間」として弾力的な活用をすることができ、より学習内容や児童の実態に応じた指導を行うことが可能となります。
主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業が実施できます。思考力・判断力・表現力等の育成に効果的です。

○基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る
「学びのふり返りの時間」として、「わからなかったこと」を「わかるようにする」ための時間として、学習内容を確実に習得する時間として設定します。
自律学習シートを作成し、自ら「目標」→「計画」→「行動」→「ふり返り」のサイクルを確立します。

学習の質を高める「教科横断的」時間

基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る

○昼休み時間・放課後の自由時間の拡大
昼休み時間を長くし、放課後の時間が増えることで、友だちと遊ぶ時間や自分で学習に取り組む時間が増えます。習い事があっても、放課後の時間に余裕ができます。

○研修・教材研究・授業準備等の充実
放課後の時間を活用して、児童の学びの質の向上を図るため、弾力的な時間割設定に対応した指導方法や教材教具について、教員同士で話し合いながら研究を深めることで「授業力の向上」につながります。

「問い」をもち、主体的に学ぶ授業の推進

教職員における「働き方改革」の推進を図ることができ、児童も教職員も質の高い学びのために、豊かな時間を生み出すことができると考えられます。